

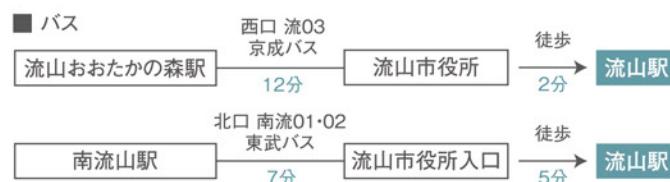
切り絵行灯が灯る江戸風情の町並み。

白みりん発祥の地、流山本町。

流山本町

切り絵 絵 行灯

あんどん
おさんぽガイド



お問い合わせ

流山市役所 流山本町・利根運河ツーリズム推進課

〒270-0192 千葉県流山市平和台1-1-1
Tel. 04-7168-1047 Fax. 04-7158-5840

ココシル流山本町 <http://nagareyama.kokosil.net>
流山市観光協会 <http://www.nagareyamakankou.com>



ココシル流山本町

あんどん

あか

切り絵行灯のやさしい灯りが旧道を照らす

ノスタルジックな町並み。

あんどん

“人々の想い”を伝える行灯を道しるべに、

小さな旅に出ませんか。

INDEX

切り絵行灯の誕生ストーリー …3

切り絵行灯エリアMAP …5

①流山駅前エリア …7

②広小路エリア …9

美味しいブレイク
流山本町ランチ&カフェ …11

③旧駅前通りエリア …13

④水運エリア …15

⑤白みりん発祥の地エリア …17

隠れた名品
流山本町 おみやげとお買い物 …19

⑥八木道エリア …21

⑦一茶エリア …23

⑧通が好む
白みりんエリア …24

こんな本町もおもしろい♪
流山本町見どころ&イベント …25

江戸川沿いに位置する流山本町は、江戸から明治、大正時代にかけて

水運を活かした商業の町として栄えていました。

人や物、文化が集中し、小林一茶や新選組ゆかりの地でもあります。

白みりん発祥の地としても全国に知られていました。

土蔵造りの家屋や、百数十年続く老舗が点在し、歴史の名残を伝えています。

そんな町に調和した美しい道しるべをつくろうと、

住民たちがボランティアで飾り始めた切り絵行灯。

現在100基近くにもなる切り絵行灯は、

1枚1枚に住民や店主たちの想いが込められ、

訪れる人の目を楽しませています。

歴史ある建物を生かしたカフェやレストランで味わう白みりんグルメ、

老舗の店主との語らい、路地裏歩きや神社仏閣めぐりなど、

古さと新しさが混ざり合い、この町は今、わくわくする町に成長中です。

人々の気持ちがともる行灯を道しるべに、小さな旅に出ませんか？



行灯をつくるひと

幼なじみのふたりがつくる、地元を想うあたたかい灯り

切り絵行灯の誕生ストーリー

毎年7月の上旬に行われる地元の神社のお祭りの「夜」を盛り上げるため、飯田氏と長谷部氏の考案により、平成24年に「切り絵行灯」が生まれた。行灯にはめこむための切り絵を飯田氏が、本体の設計・製作を長谷部氏が担当した。

行灯の正面には、店名や昔の屋号などを入れ、その下に依頼主の想いを伝えるデザインの切り絵の原画をはめ込み、両側には流山の市の花である「つづじ」と、船が浮かぶ「江戸川の風景」の切り絵で統一することがルール。記念すべき第1号は長谷部さんのお宅の切り絵行灯。本体は1mほどで、耐久性や色や明るさなど、細かい部分も研究し試作を重ねた末に出来上がった。

元々お二人は幼馴染で、生まれも育ちもこの流山本町。「この行灯を通じて少しでも多くの人に流山本町を訪ねてもらい、それが町の活性化につながってほしい」と願っていた。その想いに共感した近所の商店主達から早速、行灯製作



飯田 信義氏（いいだ のぶよし）
切り絵を手がける飯田氏は、20年前に訪れたホテルで切り絵に魅せられ、その後独学で切り絵作家に。パリでも展示会を開いた実績がある。市内を中心に行き絵講座を開催するなど、精力的に活動している。



※思い入れの深い「花の6基」。ここから行灯づくりは始まった。

の依頼を受け、6基の行灯を完成させ、祭りの夜を飾った。お二人はこの行灯を親しみを込めて「花の6基」と呼んでいる。（※「長谷部邸」「笹屋商店」「呉服ましや」「丁字屋」「木村印舗」「千弦」の行灯。）現在でこそ流山本町には100基近くの行灯が設置されているが、最初はこの6基からスタートし、クチコミで広がった。

依頼者が材料費を負担し、製作者のお二人は手間賃をもらえないという、ボランティアでの切り絵行灯づくりがこうして始まった。製作は切り絵のデザインを決めるためのヒアリングから始まり、1基あたり1週間から10日ほどかかる。月に3基くらい作るのが限度。それでも、地元愛の強い町の人たちの協力により、切り絵行灯の輪が広がっていました。

切り絵行灯設置後は、互いに目の行き届く範囲で、メンテナンスの必要がないか日頃から気にかけて歩いているお二人。まさに毎日が「行灯パトロール」。日に焼けた切り絵や枠などの修正もボランティアで行っている。



長谷部 年春氏（はせべ としはる）
手先が器用で、モノ作りが好きな長谷部氏は、日曜大工が大得意。ご自宅で使うものだけでなく、自治会や近所のご相談にのったりて、その技術力を地域に還元している。近所の飲食店には、長谷部氏の作った流山本町のジオラマが展示されている。

ホームセンター
大好き♪

切り絵行灯 こぼれ話

デザインや耐久性などを緻密に計算し、試作を重ねながら行灯づくりをされた長谷部氏。近所のホームセンターで材料を仕入れているが、行灯の発注が殺到した時期、同じ種類の角材ばかり大量に購入していたため、店員さんから不思議がられ、何に使っているのか尋ねられたこともあります。今では店員さんともすっかり仲良くなり、店内のことも熟知されている。



ファンレターが来ちゃった！

ある日、切り絵行灯のファンになった小学生達から、製作のお二人の元にファンレターが届いた。「切り絵行灯が大好きで、応援しています」という内容のお手紙。かわいいお手紙を喜んだお二人は、お礼にミニ切り絵行灯をプレゼント♪ 地道な活動で、素敵なお手紙が届いた嬉しい瞬間だった。

屋根つき行灯が誕生♪

世界に1つしかないオリジナルの切り絵行灯。皆さん大切に飾っているが、中には切り絵行灯が雨にさらされてしまう可哀想だと、手づくりで素敵な屋根をつけてしまったお店やお宅も…。屋根つき行灯はそんな思いやりから生まれた、レア行灯。見つけたらいいコトあるかも…？！

子ども達にも広がる行灯の輪



流山本町がある地域の社会福祉協議会が中心となって、平成28年には長谷部氏の指導のもと地元の小学生30名が行灯づくりに挑戦した。作品は花火大会や「切り絵行灯と音楽の夕べ」(p 25)というイベント等で、飾られている。

また、流山北小学校では、流山を支える人達について勉強する授業があり、その中で切り絵行灯づくりについて飯田、長谷部両氏に話を聞き、その内容を発表するといった活動も行われた。これらの活動を通して、子ども達は地域への愛着を深めている。



どこから
歩く?

切り絵行灯

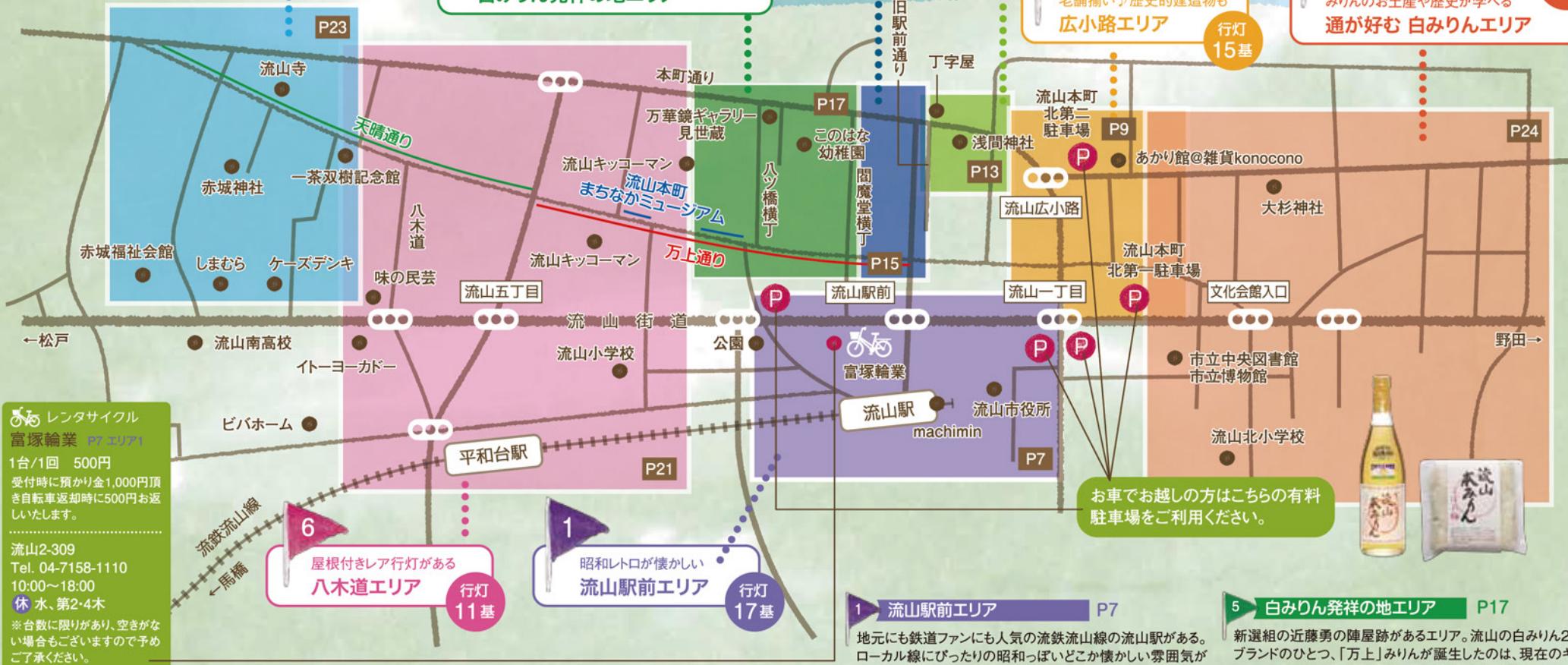
エリア MAP



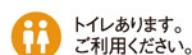
7
大しめ縄や一茶双樹記念館
一茶エリア
行灯 3基



5
近藤勇陣屋跡やまちなかミュージアムも♪
白みりん発祥の地エリア
行灯 13基

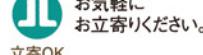


本書で使用しているマーク



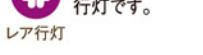
トイレあります。
ご利用ください。

トイレあり



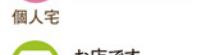
お気軽に
お立ち寄りください。

立寄OK



ちょっと珍しい
行灯です。

レア行灯



個人宅です。
ご配慮ください。

個人宅



お店です。
お立ち寄りください。

*ガイドブック上に記載されている行灯の番号は、あくまで本誌用のものであり、実際の行灯には番号はありません。

①行灯に触らないでください。
②持ち主の方々、近所に迷惑がかかるないように配慮ください。
*ガイドブック上に記載されている行灯の番号は、あくまで本誌用のものであり、実際の行灯には番号はありません。

行灯をめぐることで流山本町に住む方が大切にしてきた先祖や町の歴史と、今ではもう見ることができない昔の本町の町並みなどを知ることができます。このガイドブックをきっかけに、ぜひお店に入って、店主の方とおしゃべりをしていただき、「飲食やお買い物をお楽しむください。

行灯めぐりの楽しみ方

持ち主の想いが込められている切り絵行灯

本書の楽しみ方

100基近くもある本町の行灯は、ひとつひとつデザインが異なっており、行灯本体には切絵の原画がはめ込まれていて、全てが世界に一つしかないものです。また、そのデザインには持ち主の想いや町の歴史がつまっています。切り絵に込められたストーリーを知って鑑賞するのもおすすめです。

4
かつての商業・教育の中心地
水運エリア
行灯 12基

江戸～大正時代にかけ、江戸川の水運により、物資や人の集積地として栄えた。米の産地が近く醸造業も盛んだったため、白みりんの開発ができる。天気のいい日は、スカイツリーや富士山も見られる。



8
みりんのお土産や歴史が学べる
通が好む 白みりんエリア
行灯 10基



1
昭和レトロが懐かしい
流山駅前エリア
行灯 17基

1 流山駅前エリア P7

地元にも鉄道ファンにも人気の流鉄流山線の流山駅がある。ローカル線にぴったりの昭和っぽいどこか懐かしい雰囲気があるエリア。地元の人たちから長年愛されているお店が集まっているので店主との語らいもぜひ楽しんで。

2 広小路エリア P9

水運で栄え、商業が盛んだった流山本町の様子をうかがい知事ができる「広小路」のエリア。昭和半ばのころの町並みを切り絵で再現している行灯も。老舗ぞろいで、歴史的建造物も多く残る。

3 旧駅前通りエリア P13

旧駅前通りやその周辺には、昔から残っている細い小路がたくさん。小路を歩いて行灯をめぐるのが楽しいエリア。古い建物を利用したカフェやレストラン、パワースポット「富士塚」のある浅間神社など見所いろいろ。

4 水運エリア P15

醤油醸造「紙平・浅見平兵衛」の行灯からは水運が盛大の頃の流山の様子を窺い知る事ができる。また、県内最初の小学校が置かれたお寺「常与寺」もある。流山本町の中でも中心的な場所だった歴史的なエリア。

5 白みりん発祥の地エリア P17

新選組の近藤勇の陣屋跡があるエリア。流山の白みりん2大ブランドのひとつ、「万上」みりんが誕生したのは、現在のキッコーマン流山工場の場所。工場の外壁には、昔のラベルなどの展示がされている「流山本町まちなかミュージアム」もある。

6 八木道(やぎみち)エリア P21

流山市内の八木地域に続く「八木道」があるエリア。大八車がやっと通れる道幅は昔から変わらない。手づくり屋根がついた珍しい行灯や、昔ながらの駄菓子屋さんや洋品店など、ノスタルジックな雰囲気が楽しいエリア。

7 一茶エリア P23

赤城神社にはおよそ500kgにもなる巨大な大しめ縄が飾られている鳥居がある。また、一茶のゆかりの地であり、白みりんの2大ブランドのひとつ「天晴(あっぱれ)」みりんが生まれた場所である「一茶双樹記念館」があるエリア。

8 通が好む 白みりんエリア P24

流山のみりんやみりん関連のお土産がそろう「かごや商店」や、みりんの歴史を学べる「博物館」があるエリア。「博物館」は、みりんが造られる工程や道具など、資料や展示がわかりやすく工夫され、子どもから大人まで楽しめる。

流山駅前エリア



2 商工会議所

市内の商工業者の商売繁盛、地域の活性化を願って、七福神をデザインに。観光客や市民への休憩場所として、商工会議所のサロン(正面から入って直ぐの空間)を開放している。



3 千葉銀行

地元を大切にし、地元に愛される銀行でありたいとの気持ちから、人々で賑わっている銀行内の様子をデザインに。



初代は万上味淋を開発した堀切氏の番頭をしており、三代目の高鹿辰五郎氏が銅を扱う板金の仕事を始めた。屋号の「銅辰(どうつ)」は、「銅」と名前の「辰」に由来するもの。切り絵は浅間神社本殿の鬼瓦。四代目と五代目と一緒に修繕工事を行った際、木型に銅板を打ち付けて造ったもの。氏子をしていることからも思い入れがあり、オーダーした。

【店舗情報】Tel. 04-7158-0262



5 甲子屋(とんかつ)

店主の家の菩提寺の流山寺にまつられている大黒天(甲子様)が店名の由来。末永い繁盛への願いを込めて、甲子様のデザインに。

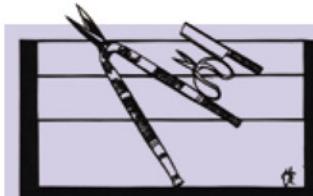
【食べる】P11



8 つたや金物店(金物屋)

昭和30年頃に店を始め、キレイ味の良い良質なはさみや包丁を揃え、お店を広げてきた。物をデザインした行灯はレア。

【買う】P19



などり

1 名登利寿司(寿司屋)

店舗

ご家族でも寿司屋ののれんをくぐっていただけるよう、あえて若いファミリーを切り絵に。ランチではちらしや握りがお得に楽しめる。

【食べる】P11



16 山田屋(食料品店)

店舗

昭和22年頃の店頭をイメージしたデザイン。東京で果物問屋をやっていた先々代が、終戦後こちらに移り開業した。地域の子ども達を見守る気さくな店主が描かれている。

【買う】P19



引込線跡

エリア6へ

小路メモ P26

千葉銀行

3 2 商工会議所

1 名登利寿司

エリア5へ

流山街道

富塚輪業

公園

レンタサイクル

※詳細はP5エリアマップ

流鐵流山線

流山駅前

16 山田屋

エリア4へ

7 寿美屋

8 つたや

金物店

9 東京ベイ

信用金庫

10 日向ぼっこ

11 流山市役所

12 柳家

13 柳家

14 豊後

15 東京ベイ

信用金庫

16 山田屋

17 流山市役所

18 machimin

19 machimin

20 machimin

21 machimin

22 machimin

23 machimin

24 machimin

25 machimin

26 machimin

27 machimin

28 machimin

29 machimin

30 machimin

31 machimin

32 machimin

33 machimin

34 machimin

35 machimin

36 machimin

37 machimin

38 machimin

39 machimin

40 machimin

41 machimin

42 machimin

43 machimin

44 machimin

45 machimin

46 machimin

47 machimin

48 machimin

49 machimin

50 machimin

51 machimin

52 machimin

53 machimin

54 machimin

55 machimin

56 machimin

57 machimin

58 machimin

59 machimin

60 machimin

61 machimin

62 machimin

63 machimin

64 machimin

65 machimin

66 machimin

67 machimin

68 machimin

69 machimin

70 machimin

71 machimin

72 machimin

73 machimin

74 machimin

75 machimin

76 machimin

77 machimin

78 machimin

79 machimin

80 machimin

81 machimin

82 machimin

83 machimin

84 machimin

85 machimin

86 machimin

87 machimin

88 machimin

89 machimin

90 machimin

91 machimin

92 machimin

93 machimin

94 machimin

95 machimin

96 machimin

97 machimin

98 machimin

99 machimin

100 machimin

101 machimin

102 machimin

103 machimin

104 machimin

105 machimin

106 machimin

107 machimin

108 machimin

109 machimin

110 machimin

111 machimin

112 machimin

113 machimin

114 machimin

115 machimin

116 machimin

117 machimin

118 machimin

119 machimin

120 machimin

121 machimin

122 machimin

123 machimin

124 machimin

125 machimin

126 machimin

127 machimin

128 machimin

129 machimin

130 machimin

131 machimin

132 machimin

133 machimin

134 machimin

135 machimin

136 machimin

137 machimin

138 machimin

139 machimin

140 machimin

141 machimin

142 machimin

143 machimin

144 machimin

145 machimin

146 machimin

147 machimin

148 machimin

149 machimin

150 machimin

151 machimin

152 machimin

153 machimin

154 machimin

155 machimin

156 machimin

157 machimin

158 machimin

159 machimin

160 machimin

161 machimin

162 machimin

163 machimin

164 machimin

165 machimin

166 machimin

167 machimin

168 machimin

169 machimin

170 machimin

171 machimin

172 machimin

173 machimin

174 machimin

175 machimin

176 machimin

177 machimin

178 machimin

179 machimin

180 machimin

181 machimin

182 machimin

183 machimin

184 machimin

185 machimin

186 machimin

187 machimin

188 machimin

189 machimin

190 machimin

191 machimin

192 machimin

193 machimin

老舗揃い♪ 歴史的建造物も

広小路エリア

15基



24 元 荒物商 大阪屋（須賀邸） 個人宅

江戸時代から明治時代頃まで荒物商（雑貨屋）をやっていた。屋号は大阪屋。昭和には歯科医院だった時代も。切り絵で描かれているのは、木目調の外壁が目を引くその当時の建物の外観。作者の飯田氏が偶然持っていた写真をきっかけにデザインに。



23 元 安田屋酒店(松本邸)

個人宅

江戸の文政時代に創業し、現在で七代目。元々は摂津から流山に出てきて3人兄弟で造り酒屋を始めたそう。ここは安田家の長男の店だったことから「上安」と呼ばれていた。江戸時代から業態を変えず酒屋一筋のお店だった。切り絵はご主人の希望で、昔の流山ではよく目にした蔵のある風景に。



20 元 大上味噌醸造 美濃源(大塚邸)

個人宅

江戸時代から大正時代まで味噌の醸造業をやっていた。切り絵の原画に選んだのは、昔の商品のラベル。建て替えたお宅には今も昔のりっぱな鬼瓦が大切に残っている。屋号の美濃源は、美濃から流山にやって来た源右衛門さんという人が始めたことからつけられた。大上はブランドの名前。



19 マスヤ吳服店

【買う】P20



創業は1970年。終戦の少し前頃に柏から流山にお店を移した。お店で扱っている子ども用の浴衣にちなみ、店主のお孫さんの浴衣姿をデザインに。懐かしい昭和の雰囲気が漂う店内も切り絵で表現されている。



18 管理栄養士のビストロ EIZEN(カフェレストラン)

【食べる】P12



大正時代に『洋服の仕立て屋』だった建物を改装してレストランにした。その外観を切り絵に。当時はまだ着物が一般的な時代で、スープが時代を先取るアイテムだった。そこでEIZENも「減塩だけどそれを感じさせない美味しい料理で健康時代の先を行く!」という想いを込めた。行灯の文字も初の横文字!



26 元 笠見屋呉服店 (笠見邸)



創業は定かではないが江戸時代末期から呉服太物商を営んでいたといわれている。以前は通りを挟んだ向かいに店を構えていたが昭和10年頃に流山銀行があった今の場所に移った。銀行だった蔵は現在も残し、大切に使われている。実際にあった着物を切り絵のデザインに。裾の両端に鶴の絵があしらわれており、名前を入れるためにアレンジで丈を長くしたそう。作者の飯田氏も裾の模様にぜひ注目してほしいというレア行灯。



25 元 斎藤医院(斎藤邸) 個人宅



昭和10年頃に医院を開業。父親が軍医として出征してから医院はやっていないが、今でも近所の人からは「斎藤医院」と呼ばれることもある。現在の家主が子供の頃よく遊んでいた昔の広小路の通りを切り絵にした。



江戸川



29 元 下駄・履物 大木屋(染谷邸)



先代がここで下駄・草履の製造・販売を始めたのは明治末期。創業当初は傘等も扱っていた。昭和14年頃まで約30年店舗をままでいたそう。現在の建物はほぼ昔のままだとか。切り絵は創業当時の品物をイメージしたデザイン。下駄の鼻緒に入った赤の差し色が目を引くレア行灯。

30 あかり館@雑貨konocono



築90年近く乾物屋だった建物で和紙の灯りや雑貨、自家製酵母のパンを販売するお店。昭和の建物とは思えないほど重厚感があり、宮大工さんが一刀彫りで作った櫻の神棚は今も大切にされている。店内では岐阜の美濃で作られているオリジナル和紙を使った照明やランプがたくさん。行灯には「彩」という文字が切り絵で表現されている。この文字には、色とりどりの和紙を使った灯りへの想いが込められている。



27 ましや呉服店



安政6(1859)年に呉服太物商「増屋」を創業。江戸時代から続く老舗の呉服屋。日本の美しい伝統染織技術を現代に伝え続けるごだわりのお店。切り絵のデザインは明治3年築の土蔵で、市の指定文化財。本町界隈に現存する貴重な歴史的建造物。現在、蔵の中には、昔の商売道具や着物が展示されている。



28 トロン tronc (喫茶)

【食べる】P11



築約100年の納屋を改装してできた喫茶店。スイーツは季節の果物から地元名産の白みりんやみりん粕「こぼれ梅」を使ったものまで常時4種類ほど。都内でカフェを営んでいたご夫婦がこの町を気に入り出店した。切り絵になっている店舗は、2人でほぼ改修を行い、店内やお庭もどこか懐かしくほっとする隠れ家的なお店。troncとはフランス語で木の幹という意味。実家が造園業を営んでいたため、植物を由来とする店名に。



22 ホッペ(やきとり・居酒屋)

【食べる】P11



昭和21年に当地でお店を始めた。現在の店主になって45年目。腰の低い店主と優しい奥様の人柄に惹かれて、地元の方はもちろん、市役所の職員も昔から通うお店。デザインの元になったのは店主が大切にしている懐かしい写真。昭和34年頃の、県道もなく、市役所が本町通りから現在の場所に移転して間もない頃の広小路の様子が分かるレア行灯。



21 元 千疋屋(秋元邸)



創業約150年の元時計店。創業者が埼玉の千疋村の出身だったことが屋号の由来。当初は大杉神社付近で雑貨・衣類・食料品等を販売。時計店は広小路に移転してから始まったが、戦争で跡継ぎを失ったため、親戚だった元店主夫婦が引き継いだ。平成31年閉店。

白みりんや地元野菜を活かした料理が評判のレストラン♪

丁字屋(レストラン) P13 エリア3-37

地元の食材を活かし、肉や魚などの気軽なランチから、夜はお箸で食べられる本格フレンチまで。白みりんを使った鴨肉ロティがおすすめ。1つ1つ丁寧に作られた、どこか和の心を感じるお料理と、古民家を改装した店内が、落ち着いた雰囲気のレストラン。




流山1-5 Tel. 04-7192-7953
休 月(祝日の場合は翌日)
11:00~14:00(L.O.) (予約可)
18:00~20:00(入店)

サクサクとんかつと豪快なキャベツ♪
きのえねや

甲子屋(とんかつ) P7 エリア1-5

国産豚を使用し、きめの細かい衣のとんかつは大好評。市内観光等の団体客様には「和み御膳」(1,200円 税別)をご用意。※要予約 4日前まで

流山2-298 Tel. 04-7158-0135
11:30~14:00/17:00~20:00 休 月、第2・第4火



小さな小道の先にあるほっこり空間。
トロン tronc (喫茶) P10 エリア2-28

どこか異空間に迷い込んでしまったような、小さなカフェ。手づくりで改装した素敵な店内もぜひ注目したい。こだわりのスイーツは1つ1つ手が込んでいて、どれも幸せな気分になる逸品ばかり。

加6-1300 Tel. 04-7126-0800
13:00~21:00 休 水・木




日本(日本料理・居酒屋) P7 エリア1-6

流山2丁目282-2 Tel. 04-7158-4691
11:30~14:00/16:30~22:00 休 火

豊後(居酒屋) P8 エリア1-14

流山1-255 Tel. 04-7158-1282
17:00~23:30 休 水

ホッペ(やきとり・居酒屋) P10 エリア2-22

加6-1253 Tel. 04-7158-0024
17:00~24:00 休 基本3, 13, 23日

千弦(カラオケ) P14 エリア3-36

流山1-154 Tel. 04-7158-1052
11:00~15:00/17:30~22:30 休 日



流山本町ランチ&カフエ

ふらっと立ち寄る異空間。
旅気分が盛り上がるお茶とごはん。



藏を改装した趣あふれるカフエ



とわ 灯環 P14 エリア3-33

一番人気は地元の美味しいお野菜がたっぷりの農園野菜のごはんプレート(ドリンク付)1,600円(税込)で、日付や数量限定のご予約優先メニュー。流山の特産品の白みりんを使ったスイーツも美味しい。落ち着いた店内と素敵な器でのんびりカフエタイムも楽しい♪



お土産も人気♪



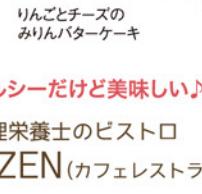
みりんdeスイーツボテ



りんごとチーズのみりんバターケーキ

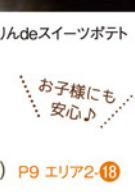


ヘルシーだけど美味しい♪
管理栄養士のビストロ



EIZEN(カフェレストラン) P9 エリア2-18

全国でも珍しい! 減塩料理なのに濃い味?! 管理栄養士が提供するストレスフリーのヘルシー食。ランチ900円(税別)より。豚肩ロースのハニー粒マスタードソースがおすすめ♪



お子様にも安心♪

創業70余年、備長炭で焼き上げた絶品の「地焼き」うなぎ。



江戸家(うなぎ) P24 エリア8-95

創業70余年、毎日欠かさず継ぎ足した秘伝のたれと、店主自ら直接選んだ柔らかく大きな鰻を上質の備長炭で蒸さずに焼き上げた「地焼き」の鰻は絶品。遠方からのリピーターも多い。



老舗のうなぎ♪



100年の歴史を誇る老舗割烹料理屋



柳家(日本料理) P8 エリア1-12-13

100年続く老舗の落ち着いた雰囲気とおもてなしの心が行き届いた居心地のよい料理屋。目にも美しいそのお料理は祭事にぴったりだが、ランチは2,000円(税込)からとお得(土日祝は除く)。雰囲気とともにぜひ味わいたい一品。



京料理 かねぎ P22 エリア6-72

流山5-19-4 Tel. 04-7158-0068
11:30~14:30(L.O.14:00)
17:00~22:00(L.O.21:00) 休 月・第2・4日夜

11

12

旧駅前通りエリア



店舗



39 木村印舗 買う ▶ P20

創業者 貞治郎氏は、明治38年にこの場所で歌川系の絵師に学びながら「大鹿屋」を開業した。医師の娘だった妻は助産婦をして生計を助けていたという。際物師として、提灯、傘、旗、絵馬、幟、鯉のぼり、扇を描き、お客様は野田、柏、埼玉からも多く来ていたそう。二代目からは印鑑も始め創業百数十年、現在三代目。切り絵では店主自慢の提灯を表現。手先が器用でモノづくりが大好きな店主は提灯のみならず、大砲の砲射台も作ってしまったそう。その貴重な実物は地元のイベント等でお目にかかることがあるかも?!



37 丁字屋(レストラン) 食べる ▶ P11



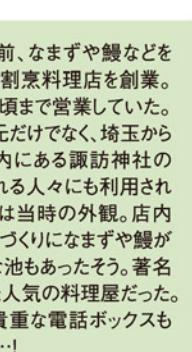
大正12年築の足袋屋を改装したレストラン。切り絵になっているのは趣深い建物の外観だが、オーナーは雰囲気だけではなく元々の屋号である「丁字屋」の名を残すなど、その歴史も大切にしている。居心地の良い空間で地元の食材を活かしたお料理が楽しめるお店。



35 蔵日和 店舗



もともと診療所だった建物。現在は「丁字屋」の客席として利用されている。



38 元 割烹 矢葉喜(伊藤邸) 住まい



約100年前、なますや饅などを中心とした割烹料理店を創業。昭和20年頃まで営業していた。当時は地元だけでなく、埼玉から牛車で市内にある諏訪神社の参拝に訪れる人々にも利用された。切り絵は当時の外観。店内には、土間づくりになますや饅がいる綺麗な池もあったそう。著名人も訪れた人気の料理屋だった。当時は貴重な電話ボックスもあったとか…!



42 元 青果店(長谷部邸) 住まい レア行灯



行灯の切り絵を作成している飯田氏のお宅。独学で切り絵作りを始めて約20年のこと。大正末期まで「餅屋」という屋号の米穀商として、お米や煎餅、団子などを扱っていた。自宅隣の浅間神社は昔から飯田氏にとっては特別な場所。そんな思い入れ深い浅間神社の神輿を、装飾の細部まで丁寧に切り絵で表現している。

● 製作者紹介 ▶ P3



43 元 餅屋分家(飯田邸) 住まい



● 製作者紹介 ▶ P3

個人宅



【お茶の教室お問い合わせ】 Tel.04-7158-2366

34 江月庵 菅生 すこう (元油屋材木商) 住まい



明治から大正にかけて油屋という屋号の材木商をやっていたが、終戦でお店を閉めたそう。現在はお茶の教室を開いており、浴衣でのお茶会なども企画している。お宅にあるこだわりの坪庭が切り絵で描かれている。



店舗



33 蔵のカフェ+ギャラリー 灯環 食べる ▶ P12



江戸時代に建てられた③2笹屋商店の土蔵を改装しカフェとギャラリーに。国の登録有形文化財でもある。店主がこの一目惚れをし、念願叶ってお店をオープンした。店主のこだわりが詰まったこの店の外観が切り絵のデザインに。趣ある店内で地元名産の白みりんを使ったスイートポテトや自家製ケーキ、素材にこだわったごはんプレートなどが味わえる。お土産や贈り物にも嬉しいスイーツや雑貨も。2階のギャラリーでは不定期に多彩なイベントを開催するほか、年に数回、お庭で行われるマルシェも人気。

32 笹屋商店 (手づくり小物・寝具)

創業は万延元年(1860年)。日本橋の「越後屋」(後の三越)の仕立屋「笹屋」から暖簾分け。当時流山で隆盛を誇った呉服店「三河屋」の仕立てを請けた。現在は五代目が寝具製作技能士として寝具店を営んでいる。切り絵のデザインになっている国登録有形文化財の「笹屋土蔵」は明治31年に三河屋から移築したもの。おしゃれで上質なふとん生地による笹屋オリジナルの手づくり小物(名刺入れやタブレットケース)などはオーダーメイドで作ってくれる。どれも職人技が光る逸品。

● 買う ▶ P19

36 千弦(カラオケ) 店舗



約100年前にそば屋「小西屋」を創業。その後、せいろの製造販売や竹竿、釣具販売、季節や流行に合った品を扱う際物店、居酒屋を経て、現在は地元の人がカラオケを楽しめるお店に。お店は予約制。店主は行灯製作のお二人と幼なじみだったので切り絵のデザインをお任せにした。町の活性化のために行灯づくりがスタートした平成24年から協力しているお店。

● 食べる ▶ P11



40 41 浅間神社



江戸時代の初めに創建されたこの地域の鎮守様。境内には船頭さんが力比べをしたとされる力石や、裏にまわると富士山の溶岩を用いて造られた富士塚がある。2基ある行灯には外観とお神輿がそれぞれ描かれている。安産、子育て、縁結び、夫婦円満、火事除けなどのご利益があるとされ、地元の人々に敬われている。毎年7月上旬開催のお祭りでは、神楽殿で行なわれるお囃子と獅子舞などの演舞も目玉!

● 見る ▶ P25

水運エリア

12基



44 元 醬油醸造 紙平 浅見平兵衛 (浅見邸)

江戸後期にヤマサから暖簾分けし、製紙業から醤油醸造に転じたといわれている。屋号は「紙平」。切り絵の元となったのは明治27年頃の工場が描かれた銅版画。これは当時の広告のようなもので、大事業主でなければ作れなかつた貴重な代物。ここに描かれている赤松は今も大切に受け継がれている。野田の醤油醸造を牽引していたひとつである茂木家も紙平に奉公に来ていたらしい。ここは江戸から著名人も訪れる、流山本町でも中心的な場所だった。切り絵からも紙平が大きな醸造家だったことや流山が水運で栄えていたことが伺えるレア行灯。



47 48 常与寺

鎌倉時代に創建された日蓮宗のお寺。明治5年に小学校の教師を育成するための学校がここで生まれた(千葉師範学校)。現在の千葉大学教育学部発祥の地である。同時にここで流山小学校が誕生するなど、地域教育の中心となった。保存樹林の「イチョウの木」が今も常与寺の歴史を見守っている。貴重な歴史を持つ常与寺にはアングルの異なる2つの行灯が設置されている。



エリア5へ

常与寺



54 元 金杉元吉商店 (金杉邸)

平成10年頃までこの場所で金杉元吉商店という寝具屋を営んでおり、現在は平和台の方へ移って営業を続けている。今は住宅ばかりだが、この行灯があることで、当時はこの通りにも商店があったことを伝えてくれている。切り絵のデザインは中国に伝わる伝説の鳥「鳳凰」。以前、観光で訪れた寺院の天井に描かれていた鳳凰の絵が素晴らしかったことから、お願ひしたそう。



個人宅



個人宅

51 荒木邸

ご自宅のシンボルであるざくろの木を切り絵のデザインに。なんとこのざくろの木は大正時代から生きていて、樹齢は100年以上になる。今も荒木家では大切に育てている。ざくろの花は5月、6月頃に見られるそう。



50 浅見邸



個人宅

家の父は重要無形文化財に認定された能楽師。兄と弟さんも東京・代々木の能舞台で現在、能楽師として活躍中。舞台で舞う弟さんの姿を切り絵で再現してもらった。



個人宅



45 元 佐野屋 (小川邸)

個人宅

佐野屋(屋号)は明治14年頃から昭和20年ごろまで荒物雑貨を販売しており、機織り機や陶器、漆器、馬具、砂糖など、百貨店のように様々な商品を扱っていた。農耕馬具は柏や三郷から買いに来る人もいた。切り絵の下部のデザインは、当時扱っていた商品名が書かれた「引き札」を描いたもの。現在でいうお店の広告チラシのようなもので、現在も大切に残している。上部は「印半纏(しんばんてん)」。表に屋号、背中には店のマークが入っていて、宣伝のために、出入りする職人さんに着てもらっていた。しかし、戦時中は経営が厳しくなりこの印半纏を農家でお米などの食べ物に換えていたそう。現在、四代目の手元に1着だけ残っており大切に受け継がれている。



個人宅



46 ミューズ熊坂音楽スタジオ

国内外で活躍している歌手、熊坂牧子氏の音楽教室。熊坂家は45佐野屋の分家にあたり、現在の場所には佐野屋の土蔵が2棟あった。1棟は駅前通りをつくる際に無くなり、もう1棟の方にお宅を建てた。築約100年の土蔵の下には50cmほどの厚さの木み殻があり、湿度を調整する役割があったのではないかと考え、そのまま活かした。留学先のウイーンをイメージしたというお宅にはたくさんの方に喜びが詰まっているが、中でも約100年前にドイツで作られたアンティークのグランドピアノを切り絵のデザインにした。【教室情報】<http://r.goope.jp/muse-kumasaka/>

49 合田邸



個人宅

同級生もたくさんいるこの町を愛し、活性化に協力しようと行灯を設置。切り絵には家の外観と、夫婦で大切にされているお庭のお花や緑を入れてほしいとオーダーした。今では行灯は合田邸の表札代わりになっているそう。



44 元 醬油醸造 紙平 浅見平兵衛 (浅見邸)

45 元 佐野屋 (小川邸)

46 ミューズ熊坂音楽スタジオ

47

49

合田邸

48

常与寺

50

浅見邸

89

幸栄サービス

51

荒木邸

52

大島塗装店

53

流山駅前

至野田→

至松戸

↓流山駅

至野田→

至松戸

エリア1へ

至野田→

至松戸

至

近藤勇の陣屋跡やまちなかミュージアムも♪

白みりん 発祥の地エリア



13基

62 清水屋(和菓子)

創業明治35年。流山本町で地元の皆様に支えながら117年続けてきた和菓子屋。切り絵に描かれたこちらの建物は国登録有形文化財。昔ながらの製法を頑固に守り抜いてきた伝統の味。「陣屋もな」はメディアにもよく取り上げていただくなと銘菓。贅沢な薪炊きのあんが絶品。

買う ▶ P19



見る ▶ P26



エリア6へ

小路メモ ▶ P26

見る ▶ P26

流山キッコーマン

小路メモ ▶ P26

小路メモ ▶ P26

65

引込線跡

小路メモ ▶ P26

至松戸

至流山駅

至野田→

エリア1へ

流山街道

至松戸

店舗

レア行灯

店舗

レア

美濃和紙のやさしい灯りの他、地元の作家による手づくり雑貨、食器、お店でつくる自家製酵母パンなどが買えるお店。築80年の商家を改装した店舗は雰囲気たっぷり。2階では書道などのワークショップも開催している。



和紙のやさしい灯りと手づくり雑貨、自家製酵母のパン♪ P10 エリア2-30

あかり館@雑貨konocono
(和紙照明・雑貨・お菓子)

加6-1324 Tel. 04-7150-3131
平日10:00~16:00/土祝13:00~17:00
休 日・月(臨時休業あり)



ハマる♪ 美しい万華鏡の世界。



店内には国内外の万華鏡作家さんの作品が並ぶ。幻想的な万華鏡の映像に、お気に入りの世界が見つかるかも?!

万華鏡ギャラリー 寺田園茶舗 見世蔵
P17 エリア5-63
流山2-101-1 Tel. 04-7190-5100
10:00~17:00 休 月・火(祝日は営業)



自分だけの個性的なお土産を見つけたいなら♪

工芸品を中心に個性的で素敵な全国の作家作品をご紹介するギャラリー。世界に1つだけのお土産が見つかるかも♪



ギャラリーよし
P24 エリア8-85
加4-1693-2
Tel. 04-7157-8144
11:00~18:00 休 不定期

おみやげとお買い物の◎

名産品やおいしいアレコレ♪ 珍品まで…
掘り出し物が見つかるかも!



贅沢な薪焼きのあんが絶品 陣屋もなか。

昔ながらの製法を頑固に守り抜いてきた伝統の味は、ぜひ食べたい一品。国登録有形文化財になっている店舗もレトロ感がたまらない。

清水屋(和菓子) P17 エリア5-62
流山2-26 Tel. 04-7158-0140
12:00~19:00 休 火・水



みりんを使った手作りのマシュマロや キャラメルクリームパン。

本町の観光情報発信拠点&コミュニティースペース。みりんを使った手作りのマシュマロやキャラメルクリームパンを味わえる。まち歩きの休憩にも!

machimin(観光情報・みりんスイーツ)
P8 エリア1-88
流山1-264 10:00~16:00 休 定休日なし
(臨時休業はHPにてご案内)



ブックカバーやタブレットケースが人気♪

布団生地からつくる、和モダンなデザインのふくさからタブレットケースまで扱う。お気に入りの一品に出会えそう。オーダーメイドもできる。

笹屋商店(手づくり小物・寝具)
P14 エリア3-32
流山1-155 Tel. 04-7158-0147
10:00~18:30 休 水・第2,3木

流山のみりんを使用したちりめん山椒を♪



ご飯にびったりのちりめん山椒や自家製ぽんず、梅肉醤油、だし巻き玉子など、プロの味をお持ち帰りできる嬉しいお土産。

京料理 かねぎ
P22 エリア6-72
流山5-19-4
Tel. 04-7158-0068
11:30~14:30
17:00~22:00
休 月・第2,4日夜



流山名産の白みりんやみりんスイーツ、 美味しいみりん粕「こぼれ梅」。

江戸時代の製法を取り入れ、時間をかけてゆっくりと自然ろ過で造ったみりんは、古式造りならではの、ふんわりとした糀の風味と共に江戸の食文化を感じることができる。

かごや商店(酒・みりん) P24 エリア8-86
加5-1708 Tel. 04-7158-1151
9:00~19:00 休 水



ジューシーな手羽先や 手打ちもちもちうどんをご自宅で♪

人気の手羽先うどんをお持ち帰りできる。
味の民芸 流山店(和食・うどん)
P21 エリア6-71
流山6-800-9 Tel. 04-7159-6441
11:00~23:00

着物だけじゃない! 色々見つかる呉服屋さん。

和の小物や新選組グッズも並ぶ
呉服屋さん。
掘り出し物が見つかるかも?
老舗の雰囲気もぜひ味わいたい。

ましや呉服店 P10 エリア2-27
加6-1300 Tel. 04-7158-1018
10:00~18:30 休 水・木



地酒や酒粕、白みりん、新選組グッズなど 特産品が並ぶ酒屋さん♪

キレイな店内には特産品がいろいろ。
流山ならではの商品が買えるのが嬉しい!

秋元(酒屋)
P18 エリア5-58
流山2-108
Tel. 04-7159-1111
8:30~17:30
休 日・祝



つたや金物店(金物屋)
P7 エリア1-8

流山1-261
04-7158-0134
7:30~18:00 休 水



山田屋(食料品店)
P7 エリア1-16

流山1-274
Tel. 04-7158-1020
9:30~20:30
休 土・第4日曜日

マスヤ呉服店(着物・婦人服) P9 エリア2-19
洋品のイワハシ P21 エリア6-70
流山1-164 Tel. 04-7158-0311
9:30~19:00 休 水

木村印舗(提灯・扇・印鑑) P13 エリア3-39
あづまや(菓子・たばこ) P22 エリア6-75
流山1-12 Tel. 04-7158-1891
9:00~19:00 休 なし(臨時休業あり)
流山3-378 Tel. 04-7159-2345
9:00~18:00 休 日



屋根付きレア行灯がある

八木道エリア

11基



68 元 加藤樽屋(加藤邸)

昭和の初期から約40年、醤油などを入れるための木樽を作っていた。職人だった先代ゆずりの器用さで、四代目のご主人は自宅の庭の垣根や切り絵行灯の屋根なども作った。その行灯の屋根は、近所に好評で、**70**洋品のイワハシ、**69**森新聞店にも作ってあげたそう。切り絵は、親戚の伝統工芸師が樽作りをしている様子が載った本をご主人が持っていたので、そこにある写真を元に切り絵製作者の飯田氏に製作してもらった。この職人をご主人の顔にアレンジしてもらい、行灯の名前のところには、店のマークが入った昔の家の鬼瓦もいれるようオーダーした。



70 洋品のイワハシ



昭和42年頃創業し、シニア向けの婦人服を扱う、昔懐かしい雰囲気のあるお店。切り絵は地元の神輿会「四葉会」がみこしを担いでいる様子。担ぎ手中には元市長や議員さんなど良く見ると地元の有名人が並ぶ。行灯の屋根は**68**元加藤樽屋さんが製作。屋根付きのレア行灯。

【買う】P20



店舗

69 森新聞店

骨董品やレトロな雑貨を集めるのが好きな会長の奥様が切り絵行灯を気に入って設置。行灯の優しい灯りを見て癒されているのだそう。切り絵のデザインは従業員の方が新聞の配達へ出かけるところ。実在の従業員さんがモデルになっている。行灯の屋根は、**68**元加藤樽屋のご主人に作ってもらったもの。屋根付きのレア行灯。

【店舗情報】Tel. 04-7158-1651 / 定休日なし

【食べる】P12 【買う】P20



67 関根邸

こちらのご主人は民生委員をされていて、そのつながりで切り絵製作者の飯田氏、行灯の木枠を作っている長谷部氏と顔なじみ。お二人の活動に共感し、愛着のあるご自宅の外観を切り絵のデザインとしてオーダー。雨ざらしになるのが心配でオリジナルで屋根をつけて大切にしている。屋根つきのレア行灯。



75 あづまや(菓子・たばこ)



創業当初の大正～昭和初期にかけては、お煎餅の生地を仕入れて、焼いて売ったり、大人向けのお饅頭などを扱っていたりしていたそう。また、夏はカキ氷配達もしていたとか。子どもに愛される駄菓子を売るようになったのは昭和の中頃。現在では地元の大人はたばこを、子ども達はお菓子を買ひに来て、店主と会話を楽しんでいる光景がお馴染みに。切り絵のデザインは、軒先のテントをリニューアルにする前の外観。時代にあわせて商品や建物に手を加えながら大切に受け継がれてきたお店。

73 ムト一理容室 フランス美容室

明治30年代には今の広小路にあった理容室を、昭和40年頃にこの場所に移転し、美容室も開業。流山市内初の理・美容室ではないかと言われている。当時はまわりに高い建物も無く、モダンなこの建物は地元でも目立っていたため、フランス風の外観を切り絵のデザインに選んだ。平和台駅前にはユニークな看板も。理美容揃っているので夫婦や家族で行くのもおすすめ。

【ムト一理容室】Tel. 04-7158-1371 8:30～18:30 月・第1・3火 休
【フランス美容室】Tel. 04-7158-6282 8:30～18:00(水22:00まで)月・第1・3火 休



66 元 題目屋(安藤邸)

江戸時代(文化文政)の頃から寺子屋をひらいて子ども達に勉強を教えていたそう。その後、明治の初め頃には「題目屋」という屋号の豆腐屋をやっていた。また、日蓮宗の人たちが「南妙法蓮華経」とお題目を唱えに集まる場所になっていたこともあり、「題目屋」という屋号に。元々お店は江戸川沿いあったが土手の改修工事に伴い、平和台駅の方へ移転し、昭和50年まで営業していた。切り絵には、九代目のご主人が住む現在のお宅の外観が。



74 流山小学校



明治5年に千葉県内で最初に創立された140年以上の歴史がある小学校。創立時は**47****48**常与寺の中に学校が置かれ、明治22年に現在の場所に校舎を新設した。現在も地域の方々に暖かく見守られ、子どもたちがのびのびと育っている。**74**の切り絵デザインには、歴史を感じる重厚でモダンな校門が描かれている。**92**は明治22年、現地に校舎が竣工した時の外観。



店舗

72 京料理 かねき

切り絵の外観通り、風情と品格のある京料理のお店。京野菜をはじめ旬の食材を使い、店内の落ち着いた雰囲気に地元ファンも多い。名物の一茶弁当は花かごに京点心15品が盛られ、お造りやだし巻き玉子も付いている。常連客にも人気の高い豚の角煮はお持ち帰りもできる。お土産には、流山のみりんを使用したちりめん山椒や自家製ぽん酢、梅肉醤油などもある。



一茶エリア

3基



77 大塚邸



明治時代には米屋や質屋を営んでいたそう。切り絵に描かれているのは明治24年築の建物で昔は今よりも江戸川沿いに位置していたが、土手周辺の道の改修などに伴い、これまでに2回建物ごと場所を変えているとのこと。そのどちらも建物をそのまま曳いて移動させる「曳家(ひきや)」という方法を用いた。大正10年の1度目の曳家をしている時の古い写真が残っていたため、これをアレンジして切り絵に。2度目は昭和に入ってから、少し江戸川沿いに戻して現在の位置に。建物の中には昔ながらの欄間があり、今も大切に受け継がれている。



94 翠風書道教室

78 恩田邸



赤城神社の参道脇に隣接する書道教室。女性書家である依頼主が「平安仮名」を学んでいることから、平安貴族の十二単の姫を切り絵のデザインに。平安女性の優美な佇まい、黒髪と十二単の流れが美しく表現されている。



レア行灯 立寄OK



79 流山市立図書博物館



【施設情報】加1-1225-6 Tel. 04-7159-3434

9:30~17:00 月 休館(祝日の場合は直後の平日が休館)



立寄OK

- 食べる ▶ P12
- 買う ▶ P19
- 見る ▶ P25

76 一茶双樹記念館



小林一茶は、白みりん開発者のひとりである五代目 秋元三左衛門(俳号・双樹)との交流のため、生涯に50回以上も流山を訪れたそう。これを記念し、平成7年にオープンした施設。幕末に建てられた秋元家の新座敷を修理復元した「双樹亭」。当時の店を再現した「秋元本家」、句会や茶会などに利用できる「一茶庵」からなる。切り絵には、趣あふれる双樹亭と庭園が表現されている。



流山本町1丁目で育った奥様が、地元が元気になることを願って行灯をオーダー。設置してみると、優しいあかりに癒されたり、防犯にも役立っているそう。切り絵は赤い金魚が印象的な金魚鉢だが、これは、恩田家に嫁ぐときには実家のお父様から贈られたもの。鉢の底には金魚が彫られ、高級感がある。以来55年間、いくつもの金魚を迎えて、家族と語らしながら過ごした。今はここに、お孫さんが縁日でくわされた金魚が泳いでいるが、この金魚鉢は家族の楽しい思い出の象徴でもある。



81 聖教新聞店



新聞を気軽にとていただき、ぜひ親しんでいただきたいという想いを込めて、建物の外観と、新聞を読んで語り合っている人の姿を切り絵のデザインに。

【店舗情報】Tel.04-7178-9733



立寄OK

82 83 大杉神社



見る ▶ P25



茨城県に総本社がある大杉神社は、願いごとをかなえてくれる「鼻高天狗」(ねがい天狗)と「鳥天狗」(かない天狗)がまつられていて、「日本唯一の夢むすび大明神」といわれている。こちらの神社はその分社であることから、2基ある行灯の一つを天狗のデザインに。もう一つは、七五三のお参りに訪れた家族の様子を切り絵に。神社総代の方が、地元の子ども達の健やかな成長を願って行灯を設置された。毎年6月下旬の土日に行われる例祭は、お神輿も出る流山本町の三大祭りのひとつ。



84 友清石材



店舗

お寺から飲食店まで、町内に幅広いお客様を持つ石材屋さん。神輿会で六代目の頭首をつめたほど地元愛が強いご主人は、迷うことなく行灯設置を願い出た。デザインに選んだのは家業の象徴でもある墓石。店名の「友清」は、お子さんの名前を一字ずつとったもの。家族想いの人柄がじんわり伺える。

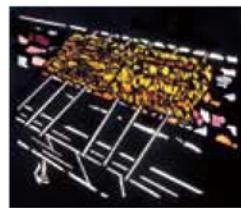
【店舗情報】Tel.090-2241-9372



85 ギャラリーよし



買う ▶ P20



95 江戸屋(うなぎ)



店舗

創業70余年に渡り、毎日継ぎ足し守られてきた芳醇な秘伝のたれと、上質の備長炭で旨味が凝縮された「地焼き」が評判の鰻屋さん。自慢の美味しい地焼鰻が描かれている。

● 食べる ▶ P12



87 寿楽堂(はり・灸)



天然無垢の木のぬくもりに癒されながら施術してもらえる鍼・灸・マッサージ店。いつもお客様の話をじっくり聞き、症状をよく診て、その時一番効果的だと思う方法を考え、全力で治療してくれる。その様子を切り絵のデザインに。足の悪い方には往診もしてくれる。

【店舗情報】加4-1-14

Tel. 04-7150-0320

9:00~19:00(要予約)

定休日 日・祝



86 かごや商店(酒・みりん)



買う ▶ P20



初代店主・金子榮蔵氏が、かごの製造販売を始めたのは1941年。チャレンジ精神旺盛な人で、1954年には「かごや商店」という屋号で酒店をはじめた。初代の志を受け継ぐべく、切り絵のデザインには「榮蔵おじいちゃん」に。お孫さんにあたる三代目は、この切り絵を見るとおじいさまを思い出し懐かしくなるのだと。昔の製法で作った「極上流山本みりん」や、流山産にこだわった清酒仕込みの梅酒などオリジナル商品も魅力。



96 菊地歯科医院



店舗

30年以上地元で地域歯科医療に貢献し、子どもから大人まで長きに渡り親しみと信頼を寄せる歯医者さん。趣のある切り絵行灯に惹かれ設置。歯科医院の外観をデザインに。

【診療情報】04-7159-6862



80 93 流山北小学校



レア行灯



個人宅

【店舗情報】Tel.04-7178-9733

10基



店舗

ともせいせきざい

84 友清石材

店舗

店舗

店舗

店舗

店舗

店舗

店舗



店舗

流山駅

P8 エリア1-9



関東の駅100選に選ばれた流鉄流山線の流山駅。始発から終点まで6駅。全長5.7kmで走行時間わずか12分。バスもスイカも使えないローカルさが魅力。駅のレトロな雰囲気や車窓から見えるのどかな風景も楽しみたい。窓口で希望すると、昔ながらの分厚い切符が購入できる。

流山1-264 Tel. 04-7158-1010 始発～終電

万華鏡ギャラリー 寺田園茶舗 見世蔵

P17 エリア5-63



明治22年築の蔵造りの見世蔵は「国登録有形文化財(建造物)」に登録されており、趣ある建物にも注目したい。流山在住で世界的にも有名な万華鏡作家、中里保子氏の作品などが見られる。自分の姿が万華鏡に映し出される「プリ蔵くん」も人気♪

流山2-101-1 Tel. 04-7190-5100
10:00～17:00 休月・火(祝日は営業)



一茶双樹記念館

P23 エリア7-76

おすすめイベント

コレは見逃せない!

- 流山本町春まつり
江戸川に咲く菜の花や特産の白みりんにちなんだグルメが集まる。
- 流山花火大会
三郷市と合わせて約1万発の花火が打ちあがる。
- 切り絵行灯と音楽のタペ
浅間神社の神楽殿でジャズの生演奏。切り絵行灯でライトアップされた境内が幻想的。



お祭りに
ちなんだ
行灯も♪



まちが活気づく 3大神社の 祭り



● 浅間神社大祭 (7月上旬の土日) P13 エリア3-40-41

● 大杉神社大祭 (6月下旬の土日) P24 エリア8-82-83

● 赤城神社 大しめ縄行事&大祭 P23 エリア7

大しめ縄：10/10前後の日曜
大祭：上記の一週間後の土日

大しめ縄行事では、住民により重さ約500kgのしめ縄が作られ、鳥居に飾られる。(市の無形民俗文化財)



流山の祭囃子や神楽等は市内の祭礼には欠かせない伝統芸能であり、市の無形民俗文化財。「赤城保存会」は、これらを次世代につなぐために、初代会長が地元に声をかけて始まり約40年間活動を続けてきた。二代目会長とメンバーが踊るひょっこり獅子舞の様子が切り絵になった行灯もある。これは、流山の祭囃子などが市の無形民俗文化財になった記念と、今は亡き初代会長を偲び娘さんによって設置された。

富士塚

P13 エリア3-40-41

浅間神社にある富士塚は、高さ約6mほどあり、富士山に登ったことと同じ利益があるとされているパワースポット。お天気の良い日はここから本物の富士山も見られるかも?!

流山の パワースポット



※上記2基の行灯は持ち主のご意向により、位置情報は掲載しておりません。



流山本町見どころ

歴史、小路、イベント：いいところいろいろ。
こんな本町もおもしろい♪



流山本町 まちなかミュージアム

(流山キッコーマン) P17 エリア5-64-65

万上通りを歩くと、流山の白みりん2大ブランドの一つ「万上」の味が受け継がれる、流山キッコーマン株式会社が見えてくる。その壁面に、白みりんに関する歴史的な資料を掲示したゾーンが「まちなかミュージアム」。現存する流山最古のみりんラベルや、流山のみりん醸造をけん引した秋元家の「天晴(あっぱれ)」と堀切家の「万上」のポスター等、貴重な資料が展示されている。

流山3-90



近藤勇陣屋跡

P18 エリア5

幕末、新選組が屯集した地・流山。流山みやげを扱う店⑥秋元のとなりに近藤勇の陣屋跡がある。流山に新選組が集結しているとの情報を得た新政府軍に包囲され、「この町に兵火を上げることは住民たちを苦しめることになる」として自首したといわれる。4月の第2日曜日には「流山新選組まつり・勇忌」が行われる。

流山2-130-1



流山の パワースポット



閻魔堂

P18 エリア5-91

舌を出した閻魔様の向かいには、講談や歌舞伎で人気を博した、江戸時代の義賊と言われる「金子市之丞」とその恋人「三千歳」の墓がある。2人にあやかり恋愛成就のお願いをする男女も増加中。

※講談「天保六花撰」、歌舞伎「天衣紛上野初花(くもにまごううえのはつな)」

流山2-116



知ればワクワク♪ 小路memo

八木道(やぎみち) P21 エリア6

洋品のイワハシから流山の八木地域まで続く「八木道」は昔からある道。荷車がやっと通れるくらいの道幅は今もそのまま。流山鉄道(現在の流鉄流山線)の赤城駅(現在の平和台)ができてからは、鉄道を利用する人が通っていた。現在のJRが通るまでは、埼玉の三郷の人たちも橋を渡って、この八木道を通り流山鉄道に乗り、東京へ行っていたのだそう。



引込み線跡 P7 エリア1



流鉄流山線、流山駅から野田醤油株式会社流山工場(現:流山キッコーマン株式会社)を繋ぐ引込み線跡。アルコールの原料であるサツマイモや石炭を運んだり、みりんの出荷のために貨物用線路として昭和4年に造られた。やがてトラック輸送の増加により鉄道の利用は徐々に減っていき、昭和44年に廃線となった。スピードが出せないように造られたカーブなど、その軌道は道路となった今でもそのまま残っている。



八つ橋横丁 P17 エリア5

流山キッコーマン工場の北側に沿ったこの道は、昔は土手につながっており、土手のつきあたりに八つ橋さんという米屋があったことからこう呼ばれている。水運で栄えた流山には川沿いに米屋が多かったそう。江戸へすぐ売りにいくことができるし、流山にも醸造家が多くいたのですぐに買ってもらえるという利点があったからだといわれている。

旧駅前通り P13 エリア3
P16 エリア4



流山駅の正面から江戸川へ向かう現在の駅前通りができる昭和25年頃までは、多くの人がこの「旧駅前通り」を使っていたそう。この狭い道に、大八車やリヤカーなどが行き交い、通り沿いには米穀商・青果店のほかに桶屋などもあったとか。現在は一部に住宅が建つなど、その様子は時代を追うごとに変わっているが、道幅はほぼ昔と変わらない。名前とのギャップが楽しめる。



閻魔堂横丁 P18 エリア5

横丁の真ん中に閻魔堂があることから、地元では「閻魔堂横丁」と呼ばれている。閻魔堂の本堂には舌を出した閻魔大王の像が江戸時代から祀られている。近藤勇陣屋跡や千葉大学発祥の地である常与寺など、歴史スポットに通ずる横丁である。